



“Dr. ジャン・シーのヒューマンファクター研究室”

No. 18 〈一点集中〉

タイトル：周りの状況が見えてる？

【事例】

作業員は、クレーンで鉄板を吊って移動する作業をしていました。作業員は、吊り荷が落下しないか、揺れていないかが気になって、鉄板だけに集中し、周りの状況確認がおろそかになっていました。上方を見ながら吊荷と一緒に移動していたため、足元に仮置きされていた足場材に気づかず、あやうく足を引っ掛けそうになりましたが、監視員が注意したため、転倒を防ぐことが出来ました。

【ヒューマンファクターの視点から】

人は正確な作業をしようとする時、そのことに「注意」を払わなければなりません。しかし、「注意」することによって、注意の対象には、エラーやミスがないように十分に意識することが出来ますが、それ以外には意識が向いていないため、作業を妨げる要因があったとしても気づきにくく、エラーに繋がる可能性があります。

このように、エラーを起こさないように作業に集中すればするほど、意識がその一点に集中してしまい、それ以外への注意がおろそかになり、周囲への目配りが出来なくなってしまいます。

作業を実施するには、様々なことに注意を払う必要があります。しかし、その全てを一人で行うには限界があるので、作業を安全に実施する為にも、以下についての配慮が重要となります。

- ・周囲の安全を確保してから、作業に取り掛かる。
- ・一人ではカバーしきれない部分を補うため、作業全体を見渡す役割の人（監視員）を配置する。

作業員が、作業に集中できる環境を整えて、「安全」作業を実施しましょう。

以 上